

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和5年12月8日（金）

2 確認箇所

陸側遮水壁ブライン供給配管（2・3号機原子炉建屋西側）

3 確認項目

ブライン供給配管遊間計測遠隔センサーの試験施工の実施状況

4 確認結果の概要

陸側遮水壁設備は、地下水が原子炉建屋等に流れ込むことで増加する汚染水の量を減らすため、1～4号機原子炉建屋を囲うように設置されている。

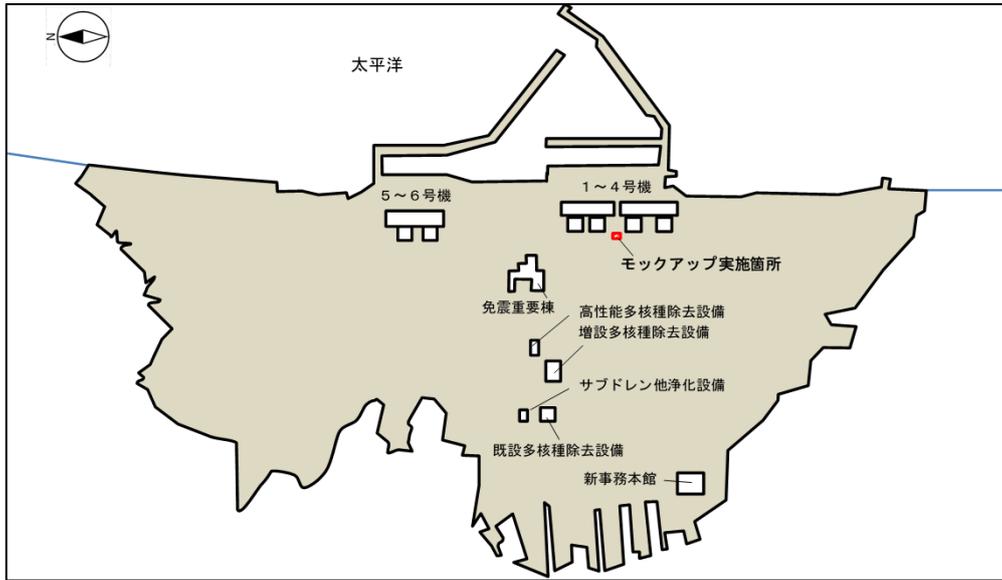
令和4年1月16日、同年2月15日に冷媒（ブライン）の漏えいが続いたことから、県では、トラブルの未然防止の観点にたつて、より一層の安全管理の徹底を図るよう同年2月16日に申し入れを実施している。

東京電力では、本件を受けたブライン漏えいに対する予防保全の取組として、ブライン供給配管接続部の遊間*をリアルタイム監視するため、遠隔センサーの試験施工を実施していることから、状況を確認した。

（前回確認：令和5年1月25日（遊間測定の状態））（図1）

- ・試験施工は陸側遮水壁の送り側のブライン供給配管のカップリングジョイント部のうち、令和4年2月に漏えいした箇所を含む3箇所（6BLKH1-1～6BLKH1-3）で実施されていた。（写真1）
- ・6BLKH1-1と6BLKH1-3の遠隔センサーの設置は完了しており、現地確認時、6BLKH1-2の遠隔センサー設置作業を実施していた。（写真2）
- ・現場に仮置きされたタブレットに遠隔センサーで得られた遊間のデータ等が表示されていた。（写真3）
- ・東京電力では、来週以降、遊間の状況のデータを収集し、遠隔センサーの本格設置について検討していくとしている。

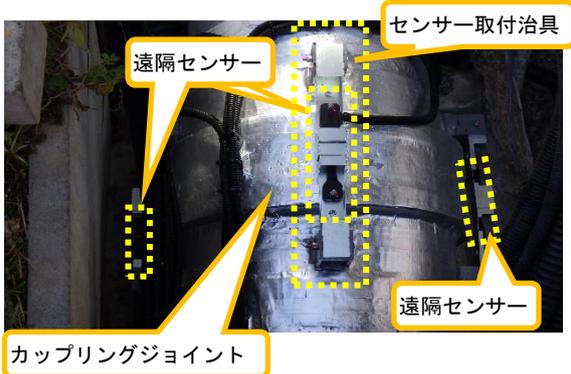
*遊間・・・温度変化や振動等によって配管同士が接触し、損傷することがないように設けられる隙間のこと。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



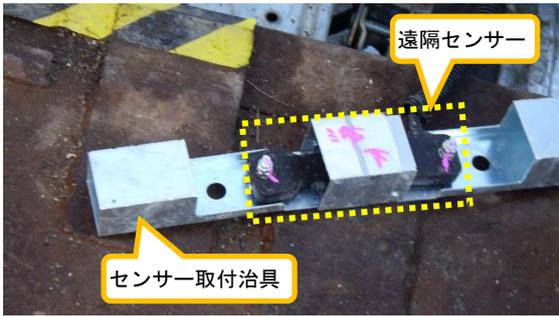
(写真1)
遠隔センサーの設置箇所周辺の状況
手前側が送り側で奥側が戻り側の配管



(写真2-1)
遠隔センサーの設置状況
各カップリングジョイント部に4つの遠隔センサーが設置されている (写真には裏側の1箇所が写っていない)



(写真 2 - 2)
遠隔センサー設置作業の状況



(写真 2 - 3)
設置前の遠隔センサー



(写真 3)
遊間データが送付されたタブレットの状況

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。